

時代の、女子力。
東洋大学の「女子学生」たち～大正・昭和・平成

PLAY
BACK

TOYO UNIV.

VOL. 12

東洋大学は2012年に
創立125周年を
迎えました。



本学に残る過去の資料をひも解くと
その時々女子学生が語る言葉に
彼女たちの生きていた時代が映る。

専門学校令による大学で初めて
女子学生を入学させた大正期――
女子学生の行動の一挙一動が
珍しさにとともに描かれている。

戦後、進学率が激増し
大学が大衆化に向かった昭和期――
女子学生の髪形や服装は華やかで
大学がまだ特別な場所だったことを髣髴とさせる。

平成時代が到来し――平成初期の学報には
「女性初」を冠にした記事が多く登場。
活躍の場を拡げてゆく、力強さに溢れている。

そして、平成24年の現在。
登場する女子はみな極めてナチュラルに見える。
多くの選択肢が与えられている今だからこそ、
柔軟に生きていくという、たくましさ秘めて。



〔昭和25年、白山キャンパス中庭で
語らう女子学生たち〕



大正時代の学生新聞には「女子学生の台頭」が
大トピックスに。〔大正15年「東洋大学新聞」〕



女子が90%以上を占めた短期大学部（平成14年度
廃止）も、リーダーは長らく男子が務めるのが慣
習だった。〔平成6年「東洋大学報」第132号〕



〔昭和50年代のリケジョ〕



現在、全学科のうち最も女子の割合
が多いのはライフデザイン学部生活
支援学科。76.5%を女子が占める。
〔平成24年 朝霞キャンパス〕

今号の表紙

リケジョの正体は女子陸上選手！



今年から始動した陸上競技部女子長距離部門。
彼女たちはアスリートであるとともに
板倉キャンパスで学ぶ「リケジョ」である。
表紙の写真は、とある研究室で撮影した
彼女たちの3年後を写し出した1枚。
まだ折り目もきっちりついた白衣を羽織い、
慣れない手つきで実験器具に触れ、
これからの未来に目を輝かせている。



発行日／平成24年10月31日
発行／東洋大学
編集／総務部広報課
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
TEL 03-3945-7571
URL <http://www.toyo.ac.jp> E-mail mlkoho@toyo.jp
制作／(株)文化工房